

産業廃棄物処理計画書

令和2年 9月 28日

大分県知事 殿



提出者 有限会社 大野ファーム
住 所 豊後大野市三重町小坂2945
氏 名 代表取締役 後藤祐三

電話番号 0974-24-9047

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 大野ファーム
事業場の所在地	豊後大野市三重町小坂2945
計画期間	令和2年 4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	母豚200頭 育成豚20頭 豚6頭 子豚900頭 肉豚1300頭
③ 従業員数	7人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	豚舎内の集糞ピットより、スクリュウコンベアで、運搬用のフォークリフトにて搬送し、コンポストに投入、2週間かけて醗酵させ取り出したのち、堆肥舎にて1~2か月間追熟させた後、農家に販売する。 尿は、浄化槽で処理したのち放流する。 死亡豚は、レンダリング業者に委託して処理する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
堆肥化して農家に販売する責任者
代表取締役 後藤祐三

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
① 現状	排出量	1432 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	排出量	1432 t	t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
------	----------------------------

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
-----	-------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1432 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和1年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	21.71 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	21.71 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

		(これまでに実施した取組)
--	--	---------------

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	21.71 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	21.71 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			